

HOYOG

教区新報

1994. 4. 78号

発行所

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区加納町6-3-1
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)393-5949(代)
〔編集〕教区基推委広報部



起工式であいさつする土基輪番

はすべて懇志という運営。二十数億のあとを追いかけるように蓮如上人五百回遠忌の懇志もあるが、皆様の懇念によって立派に完成するよう、事故のないようお願いします」と述べ、近藤副委員長は「六十年経った建物で夏、冬にはご迷惑をおかけした。このきびしい時期に多勢のかたの理解・協力を得て起工式ができ厚く御礼申し上げます。モダン寺には何とか保存をという声もあった。以前にまして多勢の人の心の奥底に残る立派な建物ができますように」と述べた。

昭和三十八年、教化センター協議会からこれまでの工事の経過報告を山本宣昭副委員長が行い、起工式を終わった。

続いて祝宴が持たれ、出席者は和やかに歓談した。長島愛生園の多田芳輔氏は「感激して今朝は三時ごろ目が覚めました。立派な教化伝道施設ができればうれし」と、邑久光明園の吉田藤作氏は「同じ。立派な道場ができてほしい。昨年九月にはここへお参りしました。落慶にはぜひ全員で、元氣でお参りしたい」と、それぞれのよろこびを語っていた。

三月九日、本願寺神戸別院改築・兵庫教区教化センター設立工事起工式が行われた。

前日まで二日間わたって降った雨も上がり早春の陽光の中、松村了昌総長を

はじめ建設・推進委員会、本願寺参事、近隣自治会、戸田建設、中村建築設計事務所など本山、教区、工事関係者ら約百三十人が出席して着工を祝った。

土基輪番の導師で讃仏偈

がお勤めされる中、出席者が焼香した後、施主、中村建築設計事務所、戸田建設の三者が欵入れを行った。

続いて建設・推進委員会会長の土基輪番が「願いを形に現す工事の第一歩。来年春には立派な平成のモダン寺ができましますように」と挨拶し、松村了昌総長、近藤常吉建設・推進委員会副会長らが祝辞を述べた。

松村総長は「現在改築中の別院が全国で十ある。あ

昭和三十八年、教化センター協議会からこれまでの工事の経過報告を山本宣昭副委員長が行い、起工式を終わった。

続いて祝宴が持たれ、出席者は和やかに歓談した。長島愛生園の多田芳輔氏は「感激して今朝は三時ごろ目が覚めました。立派な教化伝道施設ができればうれし」と、邑久光明園の吉田藤作氏は「同じ。立派な道場ができてほしい。昨年九月にはここへお参りしました。落慶にはぜひ全員で、元氣でお参りしたい」と、それぞれのよろこびを語っていた。

「来春、平成のモダン寺」

別院・教化センター起工式

教区だより 4・5月

- 10日(日) スカウトクラブ総会・土の会 7時
- 11日(月) 仏婦連盟常任委員会・監査会 10時半
- 12日(火) ビハーラ兵庫役員会 1時半
- 13日(水) 岡山都市開教公開講演会 久堀弘義師 江並教堂 3時
- 少年連盟役員会
- 14日(木) 寺婦連盟運営委員会・監査会 10時半
- 14日(木)~16日(土) 別院常例法座 黒田晃順師 1時半
- 17日(日) 仏壮連盟理事会 10時半
- 18日(月) 仏婦総連盟総会 本山
- 19日(火) 保育連盟理事会・研修委員会 3時
- 20日(水)~22日(金) 教区相談員中央研修会 本山
- 23日(土) 近畿ブロック保育新任研修会 本山
- 25日(月) 組長会 10時半
- 第8回恵信尼さま顕彰平和の日の集い 本願寺会館
- 26日(火)~28日(木) 推進専従員中央研修会 本山
- 5月1日(日) 永代経開闢法要 大谷本廟
- 7日(土) 第一土曜仏教講座 丁野恵鏡師 1時半
- 8日(日) 仏壮連盟神戸大会 三田市民会館
- 11日(水) 近同推総会 京都



'94. 3. 28

本願寺神戸別院改築・兵庫教区教化センター設立、建設工事の進捗状況と今後の予定についてお知らせいたします。

本願寺神戸別院改築
兵庫教区教化センター設立

建設工事進捗状況

現況
3/12日
・連続壁打設工事開始
18日
・事務所レイアウト説明会
23日
・総合定例打ち合わせ
25日
・建設・推進総務部会

予定
4/5日ごろ
・連続壁打設工事完了
15日ごろから
・第一次掘削
22日ごろから
・一段目切梁・構台架け
建設懇志進納総額
九億三千二百二十八万五千九百七十七円
(94年3月20日現在)

教学研究所が新『伝道読本』

浄土真宗教学研究所ではこのたび、伝道部会の研究成果として新『伝道読本』(写真)を発行した。具体的には現場の布教使の



門徒会館20年 宿泊者にプレゼント

本願寺門徒会館では宗祖誕生八百年記念事業での新館竣工から二十周年を記念して、94年四月一日(十二月三十一日)までの間宿泊者で応募した人のなかから抽選で総計五百七十七人にプレゼントの特別企画を実施。詳しくは同会館まで。

後藤法城師(ごとう・ほうじょう)姫路中組真宗寺前住職)三月三日、八十四才で往生。葬儀は三月五日真宗寺で、「浄願院釋法城」昭和三十八年から同六十年まで、住職在職四十二年。この間、昭和三十一年から二期、教区会議員を務めた。

森 康正師(もり・こうじょう)岡山北組妙願寺前住職)三月十五日、九十四才で往生。葬儀は三月十七日妙願寺で、「順證院釋康正」昭和二年から同五十四年まで住職在職五十二年。藤本妙子さん(ふじもと・たえこ)神明組善福寺前坊守)三月十八日、七十四才で往生。葬儀は三月二十日、善福寺で、「響流院釋尼妙聲」



動物学者が人間を総明な人ーホモ・サピエンスと名付けたのが正しかったとすれば、それは巨大化した大脳という器官のおかげである◆人間の精神的な活動は大脳の表面にある一四〇億の脳神経細胞とそこから伸びる多くの神経繊維との連関によってできた複雑な網一ニューロンネットワークの一体的な働きによる◆一四〇億の脳細胞は五、六ヶ月の胎児の脳にすでに作られ、死ぬまでその数は変わらないという◆念仏者・中村久子さんは「まず人間に生まれさせて頂いたことを喜ばねばならない。なぜならば人間であるが故に真実の道を求めることができるからである。どれほど使ってもすり切れたり小さくならない、かけたりすることが無いのが、私たち一人一人生まれた時から受けてきている最も大切な魂、すなわち「こころ」である」と言われた◆一四〇億の脳細胞を閉法によってすり切れんばかりに鍛錬し続けることが、人間が人間たり得る唯一の道ではないかと思う。(藤谷嘉伸)

[歳入]		平成6年度 予算額	平成5年度 予算額	対比(△減)
賦課金	63,870,000	61,045,000	2,825,000	
宗派交付金	16,025,000	13,390,000	2,635,000	
各種助成金	4,730,000	3,770,000	960,000	
地方事務費	9,930,000	9,620,000	310,000	
連如上人関係費	1,365,000	0	1,365,000	
願記冥加金	4,000,000	4,000,000	0	
願線雑収入金	2,600,000	3,650,000	△ 1,050,000	
願線雑収見込	320,000	500,000	△ 180,000	
歳入合計	93,715,000	86,585,000	7,130,000	
[歳出]		平成6年度 予算額	平成5年度 予算額	対比(△減)
教化事業費	22,015,000	19,350,000	2,665,000	
基幹運動推進費	20,250,000	18,950,000	1,300,000	
教区推進委員会費	1,900,000	1,800,000	100,000	
同朋運動推進費	4,000,000	4,000,000	0	
研修費	750,000	750,000	0	
連続研修費	5,600,000	4,600,000	1,000,000	
組織教化費	2,300,000	2,100,000	200,000	
布教対策費	300,000	500,000	△ 200,000	
文書伝道費	2,400,000	2,200,000	200,000	
教材費	100,000	100,000	0	
福祉推進費	450,000	450,000	0	
社会教化費	650,000	650,000	0	
都市開教費	1,800,000	1,800,000	0	
基本計画推進費	1,765,000	400,000	1,365,000	
連如上人関係費	1,365,000	0	1,365,000	
教化助成費	3,190,000	3,050,000	140,000	
組教議費	3,500,000	2,950,000	550,000	
宗会選挙費	50,000	1,100,000	△ 1,050,000	
教務所費	63,300,000	58,210,000	5,090,000	
職員費	55,000,000	49,210,000	5,790,000	
事務所費	6,700,000	7,000,000	△ 300,000	
通信印刷費	2,200,000	2,150,000	50,000	
消耗品費	1,000,000	1,000,000	0	
水道書光熱費	500,000	500,000	0	
出張費	100,000	100,000	0	
水道出張費	500,000	600,000	△ 100,000	
出張費	900,000	1,200,000	△ 300,000	
出張費	400,000	400,000	0	
出張費	500,000	500,000	0	
出張費	600,000	550,000	50,000	
出張費	1,600,000	2,000,000	400,000	
出張費	100,000	100,000	0	
出張費	480,000	1,150,000	△ 670,000	
出張費	1,080,000	675,000	405,000	
歳出合計	93,715,000	86,585,000	7,130,000	

教区 予算は九三七一万円

教区会で基幹運動研修会

去る三月十七日別院仮本堂で開催された平成五年度定期教区会で、平成六年度教区一般会計歳計予算など財務議案九件と教区基幹運動推進委員会設置規則例の一部改正の法規議案を審議し可決した。

土基所長は所信表明にあたり、宗門は連如上人五百回遠忌法要の実働体制に入り教区で具体的な展開を考える時期であり、宗門への期待に自己の変革を通して社会に関わる責務があることを述べた。

財務議案については実績にもとづく追加更正と、六年度一般会計については五百回遠忌法要に関する経費以外は大きな変動なく、新築建物の有効運用の方途も考え予算内で着実に実施したいと説明。法規議案については教区の運動組織が充実した機能を発揮するよう組織の整備をはかる基推委

設置規則例の改正案を説明した。

財務議案では職員費に關して職員定員や採用についての意見、別院施設使用負担金などの質問が出された。可決された六年度教区一般会計歳計予算総額は九千三百七十一万五千円。

続いて可決された区例改正案の審議では改正意図の質問や運動計画について教区から組基推委への具体的説明を求める意見もあった。

その他、建設工事進捗状況、出石組真光寺解散により教区寺院数が七百七十四となったことなどが報告された。

閉会に当たり田中議長は各議員の四年間の労をねぎらい挨拶した。

教区会終了後行われた基幹運動研修会には教区会議員、基推委員、組長、組相談員が出席し、昨年五月の東海教区住職差別発言並びに今年一月の本願寺派関係

学園理事長協議会における差別発言を通して一人々々が差別撤廃に向け取り組むため研修した。

本山から出向した廣川智遵中央相談員が先の第二三七回臨時宗会の内容を含め両問題の経緯と問題点を説明。出席者から問題が本願寺新報に掲載されないことへの疑問など意見が出された。なお、この問題については三月末発行の宗報三月号に掲載される予定。

運動推進機関を整備

HO日誌

◆3月2日 門徒推進委員会 報編集委員会 ◆3日 基推委総会。今年度の反省は、教区内僧侶二〇五九人のうち一三三人が参加した僧侶研修についてや、組同朋講座については出席して意義があったと感じてもらえる講座にするための検討が必要など、その他会員数が七十人となった「ビハハラ兵庫」をはじめ社会福祉推進の活動などについて。第二次第二期計画二年目の新年度は、第二次基本計画遂行のため運動推進機関の整備研修体系の確立(研修道場活用計画樹立)社会教化の活動、御同朋総結集の計画及び教化施設の設定を目標において取り組む。教化団体の研修については改めて研修プログラムを確立し、総合的研修案を検討する。また、第八期連研の修了を受けて七月三日に本願寺会館で連研修了者大会を行う予定。規約改正案については、以前からの懸案であった教区の運動体制に合致し

た基幹運動推進委員会設置規則とそれを具現した組織図の策定を目指して企画室で協議された改正案が承認された。引き続き研修会では「信心の社会性」をテーマに谷川弘顕(神戸湊組高松寺)近藤龍樹(加古川組普光寺)の両師が提言し討議が行われた ◆研修指導員部会 ◆3日 ◆4日 青僧会一泊研修を門徒会館で。講師は教学研究所副所長・梯実圓師、テーマは「救いについて」 ◆4日 本山で教務所長会 ◆5日 第一土曜出版社編集長・鹿苑一宇師 ◆神崎組神姫組寺婦合同研修会に教務所長出席 ◆姫路中組真宗寺前住職・後藤法城師の葬儀に上原副輪番参列、達書伝達 ◆6日 永代経開闢法要を大谷本願寺 ◆7日 別院仏僧役員会 ◆別院仏僧定例法座。講師は小林浄子師(赤穂北組明専寺) ◆日校指導者研修会を姫路中組光源寺で。伏間俊鶴師(高岡教区射水組妙万寺)の記念講演、武庫川女子大教授・吉田圭一師のゲー

ム指導など。教区サマースクール三十周年を記念して懇親会も持たれた ◆8日 組長ブロック長会 ◆連研検討部会 ◆9日 起工式(一面に關連記事) ◆10日 大阪フェスティバルホールでの大阪教区仏婦連盟結成三十周年記念大会に教務所長松井委員長と担当者出席 ◆10日 ◆11日 豊岡教堂永代経法要。講師は義本弘導師(大阪教区交野組浄行寺) ◆11日 職員が成人病検診 ◆12日 ◆13日 仏壯連盟大谷本願一泊研修と連如上人旧跡参拝。大谷本願では法座活動とまとめの講義。二日目は山科別院へ参拝し、同別院の河村信副輪番から「連如上人と山科」と題して講演いただいた。続いて日野誕生院・法界寺に参拝 ◆13日 淡路組連研修了式に安井主事が出席 ◆14日 常備会 ◆別院責任役員 ◆総代会 ◆教化組織連絡会 ◆14日 ◆16日 別院常例法座。講師は佐々木大観師(安栗組西願寺) ◆17日 教区会(二面に關連記事) ◆基幹運動研修会 ◆18日 総代会幹事会 ◆新築建物の二階事

務所部分レイアウト依頼について説明会を開催。建物の性格・使用目的や事務スペースのレイアウトなど説明。説明会出席は伊藤喜、内田洋行、コクヨ神戸、桜商会、プラス、ホウトクの六社 ◆都市開教推進部会。今年度現況報告と来年度事業などを協議。岡山・江並教会は4/13に開催予定 ◆20日 神明組善福寺前坊守・藤本妙子さんの葬儀に教務

所長参列、達書伝達 ◆20日 ◆22日 別院彼岸会。講師は川本法綱師(多可組西教寺) ◆23日 兵庫女子短期大学の卒業式に教務所長出席 ◆25日 組長会。連如上人五百回遠忌法要懇志依頼並びにご消息披露巡回や、任期満了に伴う組長並びに教区会議員選挙について他院本堂内陣・総会所その他

の仏具荘厳設計コンペ採用基準の協議と各組織役職者任期満了に伴う94年度以降の建設・推進委員会役員構成、今後の取り組みについてなど ◆27日 氷上西組正福寺仏婦二十周年記念大会に土基所長が出席し、「お念仏申す人生」と題して講演 ◆北摂組仏婦総会に上原副輪番が出席し記念講演 ◆27日 ◆29日 第三十回兵庫教区寺院子弟研修会・兵庫教区スキーツアー。仮本堂で結団式に続いて教務所長が基調講義。その後夕食を済ませた二十四人は元気にバスで出発し、志賀高原でスキーを楽しんだ ◆28日 青年僧侶の街頭伝道。青僧会会員が姫路駅前、都市開教兵庫支部と協力して作ったテレホン法話促進パンフレットを配布。昨年三月末に神戸元町の街頭伝道以来一年ぶりで姫路での活動はしばらく途絶えていた。前日まで少し肌寒さの残る気候でしたが会員たちは老若男女に声をかけながら時には立ち止まる人から問いかけられたり、自己の研鑽という街頭での活動をj通して社会への関わり方を考えたようです。



姫路駅前でパンフを配る青僧会会員

青僧会、姫路の街頭へ